

会議録要旨

(1) 会議の名称	令和7年度第1回越前市政システム改革推進委員会
(2) 開催日時	令和7年7月31日(木) 午後1時30分～午後3時
(3) 開催場所	越前市役所 3階 大会議室
(4) 出席委員氏名	稻継裕昭委員長、竹内直人委員、井筒智子委員、前田聰一郎委員、坂多佳子委員、富永恵子委員
(5) 欠席委員氏名	笈洋介委員
(6) 出席所管課職員 職氏名	越前市長 山田賢一 総合政策部長 橋本尚子、総務部長 高橋透、市民活躍推進監 川端清 財務企画課長 佐竹正行、デジタル政策課長 畠山和士 人事・法制課長 師田健一郎、市民協働課長 小池幸弘 人事・法制課 副課長 長谷川昌美、阿津川智和 人事・法制課 主幹 清水健太、人事・法制課 主査 山田健人
(7) 会議議題	協議事項 (1) 行財政システム改革プランの取組みについて (2) 自治組織の見直しについて (3) 市民の幸福に関する条例(仮称)について
(8) 開催形態	公開
(9) 傍聴者の数	なし
(10) 会議資料の名称	会議次第、会議資料
(11) 会議の内容の要旨	協議事項 (1) 行財政システム改革プランの取組みについて ・きちんと評価されていると感じている職員の割合が増えていない。公務員は給与や待遇に評価が反映されにくいのが、評価されたことをどこに反映して、どのような形で職員に伝えるのがよいか考えてほしい。 ・管理職は、超過勤務手当の支給がなくなる上に、給料が上がりにくくなり、さらに部下のカバーまですると負担がとても大きくなり、モチベーションの低下につながる。 ・人事院勧告によらない独自の給料表を導入し、管理職でも、昇格すれば給料が大きく上がる給与体系の仕組みを構築している自治体もある。 ・超過勤務時間の削減のために、毎日16時に仕事を終えるスケジュール作りやパソコンの強制シャットダウンを検討してはどうか。 (2) 自治組織の見直しについて ・人口が減少して、町内会のなり手不足や機能の低下が深刻になっている。 ・現状の行政機関と自治振興会・町内会の関係では、双方の負担が大きい業務がある。双方の負担を軽減できるようにゼロベースで、業務の見直しをかけていきたい。 (3) 市民の幸福に関する条例(仮称)について ・実施したパブリックコメントでは、複数の視点から様々な意見があり、また、10代の市民からの回答もあり、よい結果と言える。

	<p>・今回のパブリックコメントの意見も踏まえ、市民一人ひとりが自由な存在であることを尊重しつつ、自分の居場所があって自分らしく生きられるつながりを作れる条例にしていきたい。</p>
--	---